

プログラム

第1会場 (1F 3513講義室)

9:50～10:00 **開会式** 当番幹事 九鬼 弘和(一般社団法人共益型 三重県臨床工学技士会 会長
済生会松阪総合病院 臨床工学課)

10:00～10:50 **看護師 一般演題1**

座長：川波 かおり 先生(医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック 透析室 課長)

1-1 当院における高齢者の服薬管理について

○箱棟 弥希(Ns)、中村 いつ子、畦智 美紀、下地 規夫、瀬古 博之、汐崎 くるみ、
中西 朋代、田垣 恵美、東藤 丹美、山下 真子、池田 香里、須崎 美紀、江崎 愛、
前地 三枝、越村 邦夫

発表者変更

○汐崎 くるみ(Ns)、中村 いつ子、畦智 美紀、下地 規夫、瀬古 博之、箱棟 弥希、
中西 朋代、田垣 恵美、東藤 丹美、山下 真子、池田 香里、須崎 美紀、江崎 愛、
前地 三枝、越村 邦夫

特定医療法人淳風会 熊野路クリニック

1-2 高齢外来患者における体重コントロールを目的とした栄養指導の取り組みと課題

○中瀬 陽子(Ns)¹⁾、山田 順子¹⁾、片山 哲也¹⁾、酒井 幾美¹⁾、宮崎 さつき¹⁾、大谷 麻衣¹⁾、
稲守 佐地子¹⁾、パク ウナ¹⁾、尾崎 孝子¹⁾、加藤 幸子¹⁾、青木 有紀³⁾、細川 亮平²⁾、
中西 道政²⁾、田之上 明子²⁾

1) 医療法人博仁会 村瀬病院 看護部、2) 同 内科、3) 村瀬病院附属クリニック

1-3 癌終末期患者へ透析見合わせの説明のタイミングについての考察 ～2事例を通して～

○溝口 加奈子(Ns)¹⁾、新原 千恵美¹⁾、船瀬 あゆみ¹⁾、坂口 久美子¹⁾、中村 沙季¹⁾、
谷 梨沙¹⁾、綿引 直美¹⁾、遠藤 真由美²⁾、平林 陽介²⁾

1) 社会医療法人峰和会 鈴鹿回生病院、2) 同 腎臓内科

1-4 アドバンスケアプランニングの導入に向けた取り組み ～「もしバナゲーム」を活用して～

○西川 千佳(Ns)¹⁾、伊藤 千尋¹⁾、向井 裕香¹⁾、市川 桐葉¹⁾、川村 順子¹⁾、
佐々木 太一²⁾

1) 特定医療法人 暁純会 津腎クリニック 看護部、2) 同 臨床工学部

1-5 看護支援経験による戸惑いや不安を学びに変える ～リフレクティブ・サイクルを活用して～

○有木 聖子(Ns)、田川 初子

特定医療法人同心会 遠山病院

3-1 交番磁場疼痛緩和治療器エイトの使用経験

○山下 敢太(CE)、安江 一修、早川 沙希、水野 大貴、中村 仁星
JCHO 四日市羽津医療センター

3-2 当院における ABI・TBI 検査と下肢動脈エコー検査の関連因子についての検討

○松原 真由子(RT)、川出 由香里、河西 真奈美、出岡 悦子、中田 敦博、伊藤 英明子、
川西 順、岩島 重二郎、河出 恭雅、河出 芳助
医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

3-3 超聴診器(心音図検査装置 AMI-SSS01 シリーズ)活用による 透析患者の心疾患スクリーニング

○橋本 拓也(CE)¹⁾、村上 正憲¹⁾、片岡 勇一¹⁾、園田 光一郎¹⁾、島ノ上 遥¹⁾、
堀 志津生¹⁾、八幡 一輝¹⁾、園田 直樹¹⁾、玉村 美恵¹⁾、益子 久美¹⁾、松村 典彦²⁾
1)医療法人康成会 ほりいクリニック 透析室、2)同 内科

3-4 オシログラフの認知度向上と臨床応用に向けた実践報告

○廣田 滂(CE)
JA 厚生連 松阪中央総合病院

未来を見据えた腎代替療法における支援のあるべき姿 ～患者・看護師両者の経験を通じて～

田中 順也 先生 堺市立総合医療センター 看護局師長、慢性疾患看護専門看護師

透析患者の高リン血症管理： NHE3阻害薬テナパノル(フォゼベル®)の実臨床における役割

松井 功 先生 大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 講師

2-1 手術時手指衛生の指導による意識の変化

○服部 茉織(Ns)、稲垣 太亮、堤 陽平、西山 真澄、坂本 悠、小川 明日香、坂田 久美子、高橋 大輔

医療法人勢風会 津みなみクリニック

2-2 透析患者におけるフット評価方法の明確化の効果

○野崎 みず恵(Ns)、岡田 昌洋、廣岡 佑香、岡本 さや香、村田 鮎美、坂本 裕美、築田 恵、松永 唯里、清水 祐子、松井 奈生子、山邊 裕子、豊岡 美咲、竹澤 有美子

医療法人友和会 たけざわクリニック

2-3 血液検査からみた統計学的検討

○岩間 祐美子(Ns)、柳田 圭祐、山下 智史、出岡 悦子、山本 和昇、中田 敦博、伊藤 英明子、川西 順、岩島 重二郎、河出 恭雅、河出 芳助

医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

2-4 2025年度(令和7年度)三重県透析看護勉強会 活動報告

○藤見 奈央(Ns)、北川 勝久、坂田 久美子、右近 華名子、竹内 美由紀

三重県透析看護勉強会

透析医療における医療経済とチーム医療

山川 智之 先生 特定医療法人仁真会 白鷺病院 理事長

10:00～10:50 臨床工学技士 一般演題1

座長：伊藤 史朋 先生(特定医療法人暁純会 津腎クリニック 臨床工学部)

1-1 透析治療中の断水を経験して

○林 駿佑(CE)¹⁾、藤田 佳樹¹⁾、佐野 雄作¹⁾、神田 翔¹⁾、小林 薫¹⁾、吉見 美穂子¹⁾、
中田 敦博²⁾、伊藤 英明子²⁾、伊藤 豊¹⁾、岩島 重二郎²⁾、河出 芳助²⁾、河出 恭雅²⁾

1)医療法人如水会 四日市腎クリニック、2)医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

1-2 透析施設における水害発生時の対応と課題

○阿部 晋也(CE)、寺岡 芽久美、岡田 麻希、稲垣 裕介、伊藤 英樹、瀬田 直紀、
水谷 益美、川村 直人

医療法人社団主体会 主体会病院

1-3 当院における塩素ガス発生防止策と塩素ガス発生時の対応について

○斎藤 拓登(CE)、宮田 勝博、天野 有二、水井 宏幸、九鬼 弘和

済生会松阪総合病院 医療技術部 臨床工学課

1-4 三重県内透析施設の透析洗浄剤誤混合対策の現状

○長谷部 佑二(CE)、伊藤 章人、森 寛貴、三浦 隆史、佐々木 太一、三上 昌志、
九鬼 弘和

一般社団法人共益型 三重県臨床工学技士会

1-5 カムチャッカ半島地震による津波警報発令時の透析室の対応と今後の対策

○河野 朱音(CE)¹⁾、三浦 真¹⁾、池田 幸子²⁾、森 寛貴¹⁾

1)国民健康保険 志摩市民病院 医療技術科 臨床工学室、2)同 看護科

発表者都合により
演題取り下げ

10:50～11:20 臨床工学技士 一般演題4

座長：山中 伸吾 先生(同心会 遠山病院 臨床工学部)

4-1 V-15RA から V-15TA、V-22RA から V-22TA への透析患者の栄養状態および循環動態に及ぼす影響

○立松 敬悟(CE)、渡辺 竜一、岩田 悠一、谷渕 壮、大谷 美代子、谷川 徹、幸田 由香、
北井 冊、黒木 洋子、三橋 笑里、井本 那緒、奥田 永遠、松本 和隆

医療法人松徳会 花の丘病院

4-2 VitE-PS 膜の使用が CBP 施行における膜寿命延長に寄与した一例

○中條 滉大(CE)、佐生 喬、加藤 隆史、高濱 航、小島 功大、北川 直樹、木屋 奈有里、
山田 昌子

三重大学医学部附属病院 臨床工学部

4-3 DCS-200Siの透析量モニター DDM機能の有用性

○山口 篤彦(CE)、水越 智哉、中村 有里、池田 琢磨、伊藤 寛則、村岡 大輔、堀 剛大、森 由貴

医療法人社団主体会 小山田記念温泉病院

4-4 高頻度I-HDF(HI-HDF)の設定条件の違いによる除去評価

○毛受 裕貴(CE)、三上 昌志、加藤 雄一、若松 亮、伊與田 義信

医療法人勢風会 亀山透析クリニック

12:30～13:20 **ランチョンセミナー2**

共催：テルモ株式会社

座長：植木 直子 先生(鈴鹿回生病院 臨床工学課)

臨床工学技士のPD業務の関わり

1 タスクシフト～CEにおける腹膜透析業務～

平林 晃知 先生 大垣市民病院 臨床工学技術科

2 CEが腹膜透析業務に携わる強み

高橋 和夫 先生 公立西知多総合病院 臨床工学科

13:30～14:10 **臨床工学技士 一般演題6**

座長：西 秀明 先生(医療法人社団主体会 主体会病院 臨床工学)

6-1 透析業務における動画マニュアル導入の取り組み

○峯野 結奈(CE)¹⁾、山下 和樹¹⁾、仲田 大希¹⁾、中原 誠史¹⁾、鈴木 絵巳²⁾、森 健太郎²⁾、尾崎 博生²⁾、青木 夕紀¹⁾、細川 亮平³⁾、中西 道政³⁾、田之上 明子³⁾

1)医療法人博仁会 村瀬病院 附属クリニック、2)医療法人博仁会 村瀬病院、3)同 内科

6-2 大型機械を含む透析関連装置とシステムの入れ替えを経験して

○加藤 すばる(CE)、藤川 兼一、北村 さくら、窪田 英里子、竹田 健吾、小倉 脩平、加藤 裕介、柳田 圭祐、長谷部 佑二、鬼頭 佳史、山下 智史、三浦 隆史、中田 敦博、出岡 悦子、山本 和昇、伊藤 英明子、川西 順、岩島 重二郎、河出 恭雅、河出 芳助

医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

6-3 腹膜透析(PD)遠隔モニタリングの取り組み

○青 拓海(CE)、九鬼 弘和

社会福祉法人恩賜財団済生会 松阪総合病院

6-4 臨床工学技士としてクリニックの組織運営に関わった経験と考察

○三上 昌志(CE)、毛受 裕貴、加藤 雄一、若松 亮、伊與田 美矢子、伊與田 義信

医療法人勢風会 亀山透析クリニック

座長：村上 正憲 先生 (医療法人康成会 ほりいクリニック 透析室 主任)

2-1 穿刺部位の情報提供を目的とした新しいカードの導入

○倉本 彪馬(CE)、奥村 直政、岩井 勇樹、伊藤 章人、本多 越次、上野 俊、佐久田 寛子、孫 賢志、渡辺 涼雅

医療法人尚豊会みたき総合病院 診療部

2-2 透析施設とアクセスクリニックの病診連携 ～シャントマップを用いた情報共有の取り組み～

○大西 龍哉(CE)、太田 晴美、徳田 怜那、水平 康代、中井 貴哉

いせ透析アクセスクリニック

2-3 エコー下穿刺における針先視認に特化した村瀬病院式トレーニングの有効性の検討

○仲田 大希(CE)¹⁾、山下 和樹¹⁾、峯野 結奈¹⁾、鈴木 絵巳¹⁾、森 健太郎¹⁾、中原 誠史¹⁾、尾崎 博生¹⁾、加藤 幸子²⁾、青木 有紀¹⁾、細川 亮平³⁾、中西 道政³⁾、田之上 明子³⁾

1) 医療法人博仁会 村瀬病院附属クリニック、2) 医療法人博仁会 村瀬病院 看護部、3) 同 内科

2-4 AVG ボタンホール穿刺への挑戦

○前野 文哉(CE)¹⁾、前川 凌汰¹⁾、伊藤 光之介¹⁾、奥野 龍空¹⁾、岸本 力也¹⁾、藤山 智己¹⁾、仲森 陽菜¹⁾、瀬川 大雅¹⁾、山川 誠人¹⁾、平岡 あかね¹⁾、黒宮 俊¹⁾、片岡 祐也¹⁾、伊藤 史朋¹⁾、柴田 翔子¹⁾、森 亨子¹⁾、佐々木 太一¹⁾、尾間 勇志¹⁾、清原 実千代²⁾、小藪 助成²⁾

1) 特定医療法人暁純会 津腎クリニック 臨床工学部、2) 同 内科

2-5 ボタンホール穿刺において静脈圧上昇がみられたときに 側孔なしの針が有用であった一例について

○長谷川 大貴(CE)、岸田 千明、植木 直子

社会医療法人峰和会 鈴鹿回生病院

座長：山下 和樹 先生 (医療法人博仁会 村瀬病院附属クリニック 透析 臨床工学技士)

5-1 週末透析後リン値予測モデルの構築と精度検証

○坂本 悠(CE)¹⁾、坂口 幸伸¹⁾、向井 亜久里¹⁾、坂田 久美子¹⁾、伊與田 義信²⁾、高橋 大輔¹⁾

1) 医療法人勢風会 津みなみクリニック、2) 医療法人勢風会 亀山透析クリニック

5-2 血清マグネシウムの一考察

○川出 智史(CE)、柳田 圭祐、岩間 裕美子、中田 敦博、出岡 悦子、山本 和昇、川西 順、伊藤 恵美子、岩島 重二郎、河出 恭雅、河出 芳助

医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

5-3 イオン化マグネシウムの検討

- 柳田 圭祐(CE)、川出 智史、岩間 裕美子、出岡 悦子、山本 和昇、中田 敦博、川西 順、伊藤 恵美子、岩島 重二郎、河出 恭雅、河出 芳助
医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

5-4 COVID-19罹患後の後遺症に苦しむ患者の食事サポートの1例 ～血液検査データより推測できることとは～

- 村上 清香(RD)、田川 久美子、北林 明代、大原 晴花
鈴鹿回生病院 栄養管理課

5-5 当院維持透析患者における10年間生存率と予後危険因子の検討

- 森 佑輔(CE)、瀬田 直紀、伊藤 英樹、岡田 麻希、川村 直人
医療法人社団主体会 主体会病院

12:30～13:20 **ランチョンセミナー3**

共催：扶桑薬品工業株式会社

座長：佐々木 太一先生(津腎クリニック 臨床工学部 主任)

透析導入期からの患者とのかかわりについて

薄井 園先生 医系総合大学昭和医科大学
認定看護師教育センター 腎不全看護分野専任教員

13:30～14:10 **医師・臨床工学技士 一般演題2**

座長：米村 重則 先生(松阪市民病院 泌尿器科 科長)

2-1 当院でのシャントエコー検査の取組みについて

- 奥村 直政(CE)¹⁾、岩井 勇樹¹⁾、伊藤 章人¹⁾、上野 俊¹⁾、本多 越次¹⁾、倉本 彪馬¹⁾、佐久田 寛子¹⁾、増田 智広²⁾
1)医療法人尚豊会 みたき総合病院、2)同 腎臓内科

2-2 スtentグラフト留置患者の中長期成績

- 日比 雅人(CE)¹⁾、山中 伸吾¹⁾、柴田 洋¹⁾、板垣 正幸¹⁾、三宅 智紀¹⁾、波田 光司¹⁾、笹井 直樹¹⁾、竹内 敏明²⁾、西村 広行²⁾
1)特定医療法人同心会 遠山病院 臨床工学部、2)同 内科

2-3 中枢静脈狭窄に対する治療法の検討

- 青木 夕紀(Dr)、村瀬 直人、細川 亮平、中西 道政、田之上 明子
○細川 亮平(Dr)、村瀬 直人、青木 夕紀、中西 道政、田之上 明子
医療法人博仁会 村瀬病院

発表者変更

2-4 過剰血流シャントに対し動脈バンディング術を行った2症例の報告

- 高橋 大輔(Dr)¹⁾、山脇 正裕²⁾、川村 直大²⁾、伊與田 義信³⁾
1)医療法人勢風会 津みなみクリニック、2)三重大学医学部附属病院 腎臓内科、
3)医療法人勢風会 亀山透析クリニック

1-1 PD in Mie (peritoneal dialysis in Mie) 2024 年末における5施設のデータ

○村田 智博(Dr)

三重大学医学部附属病院 腎臓内科

1-2 PPAP (percutaneous peritoneal dialysis access procedure) はじめました

○西田 順二(Dr)、秋山 言宇、大森 あゆみ、三浦 翔子、安富 真史

地方独立行政法人 桑名市総合医療センター

1-3 当院におけるテナパノル使用の現状と課題

○西田 順二(Dr)、大森 あゆみ、秋山 言宇、三浦 翔子、安富 真史

地方独立行政法人 桑名市総合医療センター

1-4 感染契機に顕在化したロキサデュスタットによる中枢性甲状腺機能低下症の症例

○坂口 友浩(Dr)

医療法人田中病院 伊勢田中病院 腎臓内科・透析科

1-5 当院におけるカフ型カテーテル留置症例の検討

○伊與田 義信(Dr)¹⁾²⁾、若松 亮¹⁾、三上 昌志¹⁾、服部 茉織²⁾、稲垣 太亮²⁾、堤 陽平²⁾、
小川 明日香²⁾、西山 真澄²⁾、坂田 久美子²⁾、高橋 大輔²⁾

1) 医療法人勢風会 亀山透析クリニック、2) 津みなみクリニック

三重県臨床工学技士会企画 災害対策シンポジウム

第1会場（1F 3513講義室）

15:10～16:00

座長：小薮 助成 先生（特定医療法人暁純会 津腎クリニック 院長）

西田 佳史 先生（市立伊勢総合病院 臨床工学室 係長）

1 伊勢赤十字病院 血液浄化センターの災害対策について

飯田 眞美子 先生 伊勢赤十字病院 血液浄化センター

2 血液浄化センターの災害対策と院内停電の経験

荒川 範一 先生 松阪中央総合病院 CE 部

3 当院における災害対策の取り組み

黒宮 俊 先生 特定医療法人暁純会 津腎クリニック 臨床工学部

4 当院におけるチーム医療ですすめた災害対策

小倉 脩平 先生 医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック 災害対策委員会

1 伊勢赤十字病院 血液浄化センターの災害対策について

○飯田 眞美子 (Ns)

伊勢赤十字病院 血液浄化センター

伊勢赤十字病院(以下、当院)は、三重県伊勢志摩南勢地域における地域基幹病院であり、地域災害拠点病院の指定を受けている。立地は海拔約3メートルであり海・河川に近接しているため、洪水・冠水のリスクが高く、さらに大地震発生時には津波被害の可能性も非常に高い。加えて、災害発生時には被災者の救護対応を行う必要があるため、日常からの災害対策が極めて重要である。

当院には、多職種職員による「災害委員会」が設置されており、大規模災害訓練や事業継続計画(BCP)の見直しを定期的実施している。血液浄化センターでは、入院透析患者に対する継続対応のみならず、被災状況によっては近隣地域の透析患者への支援透析も求められるため、平時からスタッフ一人一人が通常時の備えと災害発生時の行動を確認しておくことが重要である。

当センターでは年1~2回の防災訓練を実施しており、地震発生を想定した避難訓練や落差回収訓練を行い、アクションカードを活用している。しかしながら、ほとんどのスタッフは訓練時以外にアクションカードを確認せず、理解が十分とは言えないという課題がある。また、腹膜透析(PD)患者に対しては、導入時にパンフレットを用いて災害発生時の対応を指導しているが、患者自身とともに防災訓練を実践しておらず、防災意識には個人差があると考えられ、こちらも重要な課題である。

2 血液浄化センターの災害対策と院内停電の経験

○荒川 範一 (CE)

松阪中央総合病院 CE 部

【目的と背景】南海トラフ地震に備え、当院は事業継続計画(BCP)の抜本的な見直しとアクションカードの改訂を進めている。本報告は、改訂内容の紹介と、実際の院内停電事例の検証を通じた今後の課題明確化を目的とする。

【対策と取り組み】

- BCP とアクションカードの改訂：災害フェーズに応じた医療継続のための具体的な行動計画を策定し、アクションカードを改訂して災害時の迅速な初動対応を明確化した。
- 患者への周知徹底：災害時の対応や安否・連絡方法を記載したパンフレットを作成・配布し、事前周知に努めた。

【院内停電時の経験と対策】

- 実際の対応：非常電源が10分以内に立ち上がる設計であったが、実際の院内停電時、10分を過ぎても復旧せず、透析回収が遅延した。バッテリー切れにより、血液ポンプの手回し回収を強いられた。
- 対策：この経験から、院内停電発生時は医師の指示がなくとも即時に回収を行うようカンファレンスで決定・承認された。また、年2回の回収方法の勉強会を開催し、災害・停電時の透析回収の迅速化を目指している。

【結論】アクションカードの改訂は、初動対応を明確化し初動の対応の迅速化を目指した。今後は、実際された課題を基に、アクションカードの内容をさらに精緻化するとともに、定期的かつ実践的な訓練を通じて、災害発生時における病院機能の維持・継続性を一層強化していく。また災害拠点病院としてBCPを通して課題を明確化していく。

3 当院における災害対策の取り組み

○黒宮 俊(CE)

特定医療法人暁純会 津腎クリニック 臨床工学部

近年、自然災害は頻度が増加しその規模も大きくなっている。

当院は、設備災害対策として免震構造建造物であり、ライフラインに関して水は水道水と井戸水の両方を使用可能としており、平時から井戸水を使用している。電気は自家発電装置を備えている。透析資材は2週間分の在庫を備蓄している。

発災時のスタッフ間での情報共有手段としてLINE WORKS[®]を活用している。毎月アンケートに回答してもらい、実際の災害時に安否確認がスムーズに行えるよう訓練している。

また、透析患者さんとの連絡手段として災害用伝言ダイヤル171と災害メールを活用している。災害用伝言ダイヤル171の再生訓練と災害メールのテスト送信に対する返信訓練を毎月行っている。

患者教育として全患者さんに災害対策のパンフレット配布や院内掲示物による啓蒙活動を行っている。

災害訓練では透析中の大規模災害発生を想定して1回/年 日曜日に参加可能なスタッフが集まり患者役・スタッフ役に別れて行っている。訓練内容として数年前より後述の項目を目標として取り組んでいる。

- ①災害時アクションカードを活用して行動する。
- ②護送・担送方法を活用する。
- ③スタッフ同士の報連相を徹底する。

訓練後には参加者からアンケート形式で目標が達成できたか、訓練の問題点・改善点等を聴取し次年度へと繋げている。

本セッションでは当院における災害対策の取り組みを紹介する。

4 当院におけるチーム医療ですすめた災害対策

○小倉 脩平(CE)

医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック 災害対策委員会

大規模災害に備えて災害対策を整えていく事は重要である。当院では今まで、患者様に対する災害伝言ダイヤル171やSNSによる情報伝達訓練、スタッフに対する透析治療中のテクニカルな訓練と言ったソフト面を主に看護師や臨床工学技士が行ってきた。

それらの訓練を繰り返す中で、ハード面での課題がみえてきたため、透析資機材の備蓄、非常食や生活資機材の備蓄、発電機の設置、地下水の導入などの対策を行った。

その為、災害時でも自施設で透析治療を行う事ができる環境が整ったため、円滑に運用できる体制を構築していく必要が求められた。

具体的には、「発災したタイミングにおける行動スケジュールの策定」、「人員の配置・役割分担(本部、透析治療・治療支援、ロジスティック)」、「患者のベッド配置と透析スケジュールの作成」であった。

これらを行っていくにあたり、看護師・臨床工学技士のみならず、他職種も加えた災害対策チームとして取り組んできた。その結果、各専門性を活かしたチーム医療としての災害対策を展開することができ基盤が整ってきた。今後は、この策定した体制で訓練に移し、ブラッシュアップしていきたい。

透析医療はチーム医療であるからこそ、災害対策もチーム医療が重要であると考えられる。

三重ナースカフェ

ナースカフェ会場（1F 3515講義室）

三重ナースカフェ 2026

一語ろう、つながろう、明日の透析看護へー

三重県透析看護勉強会の世話人が企画した、学会当日のみオープンする特設の“小さなナースカフェラウンジ”です。

まず *Open Café Time* では、予約不要で自由に立ち寄れ、透析看護の日常で抱える悩みや工夫を、短い時間でも気軽に共有できます（※一般的な飲食カフェではなく、看護師同士が集い語り合う情報共有、交流スペースです）。

また *Nurse Café Voice Board* では、興味のあるテーマにシールを貼ったり、メッセージカードに声を書き込むことで、参加者の思いを次回企画や日々の実践へつなげていきます。

14:20からは、少人数でじっくり語り合う *Café Talk*（事前申込制・定員18名）を開催します。

ドリンクとミニスイーツを楽しみながら、実践のヒントや視点を交換し合う時間です。コーヒーの香りとくつろぎが緊張をほぐし、自然と学びが深まる“新しい学習支援スタイル”をめざしています。

Café Talk は、

- 療養支援
- 実践ケア・観察のポイント
- 療法選択などに関する疑問共有

の3テーマに分かれ、少人数で語り合います（詳細は後日ご案内します）。

〈営業時間〉 11:00～15:30

〈Café Talk〉 14:20～15:30（事前申込制・定員18名）

施設を超えて、透析看護のつながりを広げるひとときを、ぜひ一緒に体験してください。

特別講演・教育講演のご案内

特別講演

第1会場（1F 3513講義室）

14:20～15:10 座長：一般社団法人共益型 三重県臨床工学技士会 会長、 九鬼 弘和 先生
済生会松阪総合病院 臨床工学課

透析医療における 医療経済とチーム医療

特定医療法人仁真会 白鷺病院 理事長
山川 智之 先生

教育講演

第1会場（1F 3513講義室）

11:30～12:20 座長：済生会松阪総合病院 内科部長・腎臓センター長 石川 英二 先生

未来を見据えた腎代替療法における 支援のあるべき姿 ～患者・看護師両者の経験を通じて～

堺市立総合医療センター 看護局師長、慢性疾患看護専門看護師
田中 順也 先生

ランチョンセミナーのご案内

第1会場 (1F 3513 講義室)

12:30～13:20 **ランチョンセミナー1**

共催：協和キリン株式会社

座長：伊藤 豊先生 (医療法人如水会 四日市腎クリニック 院長)

透析患者の高リン血症管理：NHE3阻害薬 テナパノル(フォゼベル[®])の実臨床における役割

大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 講師

松井 功 先生

第2会場 (2F 3523 講義室)

12:30～13:20 **ランチョンセミナー2**

共催：テルモ株式会社

座長：植木 直子 先生 (鈴鹿回生病院 臨床工学課)

臨床工学技士のPD業務の関わり

1 タスクシフト～CEにおける腹膜透析業務～

平林 晃知 先生 大垣市民病院 臨床工学技術科

2 CEが腹膜透析業務に携わる強み

高橋 和夫 先生 公立西知多総合病院 臨床工学科

第3会場 (1F 3512 講義室)

12:30～13:20 **ランチョンセミナー3**

共催：扶桑薬品工業株式会社

座長：佐々木 太一 先生 (津腎クリニック 臨床工学部 主任)

透析導入期からの患者とのかかわりについて

医系総合大学昭和医科大学

認定看護師教育センター 腎不全看護分野専任教員

薄井 園 先生

企業展示のご案内

企業展示会場（1F 3511 学生ラウンジ）

10:00～15:00

〈展示出展企業〉

- アムテック株式会社
- 株式会社カネカメディックス
- 株式会社ジェイ・エム・エス
- 東レ・メディカル株式会社
- 日機装株式会社
- ニプロ株式会社
- 扶桑薬品工業株式会社
- 富士フィルムメディカル株式会社
- 三重化学工業株式会社
- メディキット株式会社

（五十音順）

透析関連の機器・機材・薬品・食材などを展示しております。

情報収集・交換の場にお役立てください。